

# すぎのこ



すが、久しぶりに背中がゾクツとする感動を覚えしました。(※一)

恥ずかしながら、私はこの歳になってツマグロ

ヒヨウモンを初めて見

て、サナギの美しさを知りました。

しかし本園の先生

や園児には全く当たり前のこと。ツマグロ

ヒヨウモンとともにいるのは普通の生活の一部のようです。

その姿を見ながら、ふと疑問が

わいてきました。これ

までツマグロヒヨウモン

のことを知らなかつた私が特別で、無知で

園児が普通なのか？

それとも私がノーマル

なのか？

そこで、実習に来て

いる学生さん十人ほどに、サナギのことを

知っているのか尋ねて

みました。

結果は、だれ一人知

りませんでした。そして

学生さんに年長組の

前にある七匹ぶら

## 「ツマグロヒヨウモンチョウ」から 本園の教育保育を考える(その一)

園児の様子を見ると、「負けたー」と思うことが多々あります。園児に負けた相手は、「幼児期の私」です。

今、パンジーやビオラの花が咲いています。ツマグロヒヨウモンのチョウの幼虫がたくさん生息しています。ビオラやパンジーの花でないとツマグロヒヨウモンの幼虫はいません。園児はそのことをよく知っており、幼虫探しに花壇に行っています。

ツマグロヒヨウモンチョウの幼虫は、かなりとげとげしく危なそうな毛虫ですが実際に柔らかく危険性もありません。派手な体



色は毒虫を思わせませんが、突起で刺すこともなければ毒も持っていないません。

サナギは尾でぶら下がるもので、背面に金属めいた金色のトゲ

状突起が並んでいます。そのトゲ

状突起の美しいこと！お尻が金

色や銀色に光って

いて、神秘的です

らあります。

先日七匹のサ

ナギが一斉にぶ

ら下がっている虫

かごを園児に見

せてもらったので



下がっている虫かごを見せたところ「初めて見た。」「美しい。」と感動していました。

私が、尚綱こども園の園児に

「負けた」と感じるのはこのこと

です。

### 環境が人を育てる

私は、子どものころ熊本市の南区に住んでおり、回りには田んぼ

が広がっていました。保育園では

部屋の中を走り回ったり外の遊

具で遊んだりした記憶はありま

すが、尚綱こども園のようにお部屋

でツマグロヒヨウモンやモンシロ

チョウを育てたり自然の中で遊

んだり様々な玩具で遊んだりし

た記憶はありません。(※二)

なんとなく、時代が古いと「自

然がいっぱいで体験活動が豊富、

今の子どもは「スマホやゲームば

かりだから、体験不足」という先

入観があります。それは私もで

した。



ツマグロヒヨウモンチョウ(メス)

ですが、本園の園児は、ダンゴムシがプランターや石の下にいたり、クワガタがクヌギの看板の裏にいたりを経験から知っています。私はキャンプに子どもを連れて行ってもクワガタを見つけてあげられませんでした。この子どもたちが大きくなったなら、そのことでしょうか。

この園にお世話になり、生活をしていると、時代は関係ない、大切なのは「環境」だということを、身をもって実感します。(以下次号に続きます)

※一 七つのぶら下がっているサナギの様子やツマグロヒヨウモンの幼虫で遊ぶ園児の様子を、HP「お知らせ」欄「五月二八日(火)」  
「五月二三日(木)」に載せています。



※二 しかし独楽回しや凧あげ、ビー玉やめんこなどでは負けません(笑)。小学校の頃、部活もない時代、下校後の遊びの時間がたくさんありました。(どれも廃れてしまいました)私の土台はここに